お・も・し・ろ・人立

めだかの学校だより

平成22年11月1日
第70号
学舎：東久留女木新田観音山
「みどりの郷キャンプ場」内
事務局：静岡県磐田市
家田529-20
TEL0539-62-6691

校長訓話

第七十回　校長　大谷　香代子

今、山の畑では冬野菜やら来春収穫の玉ねぎの植え付けに精を出しています。

それから10数年スコップ1本で主人が、整地をしました。私はせいたかあわだち草という外来種の雑草を何万本も抜きました。2年程かけやっと農業の出来る状態になりました。畑の下の方の草刈りが、終わる頃には上の方が伸び、草に追い掛け回される日々でした。

又みかんの苗を植えたり年中楽しめる様にと色々プランを立て梅の木から椿の花迄植えました。そしてその種類は30種をこえています。その時大根の種を蒔いてみようという事になり、三方原のお百姓さんの教えで種を蒔きました。長くて太くてびっくりするほど甘くて、煮てもおいしい物が出来ました。その次は渡辺三ツ子さんに玉ねぎの苗をもらって植えました。こちらもやわらかで甘かったです。うれしくて誰かに食べてもらいたくなりました。そうだ伊藤英雄さんだったら知り合いが多いから食べてもらおうと、恐る恐る持っていき、感想をきかせてほしいとお願いしました。数日すると返事が来ました。

返事はふたつに分かれ、一方はこんな甘いの玉ねぎじゃないよ、もう一方はやわらかくて甘くておいしぃよ。これは何がちがうのだろうと、びっくりしました。素人が科学肥料も農薬も使わずに作った作物なので、ひょっとすると土がいいのかなと思いました。整地する前は草が伸び、枯れて土にもどりをくり返し、みみずが一杯出るという状態だったのでこれが良かったのだと思われます。でもここ2，3年の出来の悪さはどうしたものか、温暖化のせいだけではあるまいと自然の営みの中から気づかさております。

人間の世界でも数年前では考えられなかった様なことがちまたにあふれて、目を覆いたくなるような社会です。人間も畑もすべて基礎的な土壌が出来上がっていないと枝葉も伸びず根を張ることも出来ないのだと思います。

五感は8歳頃までに身につくそうです。幼少期外でいっぱいあそびどろんこになったり、たくさん本を読んだりと色々の経験をする事が、その先の人生の役に立つのです。すばらしい人との出会いで人生の方向が変わったり大きく成長させてもらいます。泣いたり笑ったりもその中に含まれます。

色々な出来事が今の私を支えてます。

年を重ねて畑仕事をしたいと買ったみかん畑、その頃はスローライフも地産地消という言葉もなかったけれど夢見ていた事が今現実のものとなっています。おいしい野菜が、食卓にのり毎日幸せです。

私はいつも何がしたいのか目的を持ち、長い時間試行錯誤して目的にたどり着くことが好きです。まだまだしたい事が、いっぱいあります。健康で生活出来る事が、まず第一の条件です。その為には健全な食生活、良い睡眠、明るい上向きの心持、身の周りをシンプルに、体を動かしていきたいと思います。

畑で出来る野菜を利用して家庭料理を食べてもらえるサロンを持つこともそのひとつです。これから勉強する事がまだまだいっぱいです。めだかの学校でのいろいろな人達との出会いに感謝して、訓話を終わりたいと思います。

ありがとうございました。

めだかの学校伝言板

――第70回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校　長／大谷香代子
教　頭／鈴木計芳
用務員／伊藤宣勝
給食係／村木謙弌・野嶋一男・伊藤宣勝・鈴木計芳
今村純子・山中幸子・田中恒子・濱田綾子
大谷香代子・渡辺三ツ子(チーフ)
食材：村田康助・田中きみ子
＜学舎＞静岡県浜松市北区引佐町東久留女木観音山
みどりの郷キャンプ場　TEL なし

開校日／平成22年12月3日（金）6：20PMより――
受　付／熊谷純子・田村進治・大場敬子
斉藤昭（後見人）

＜時間割＞今回のテーマ　三つ子の魂百まで～

●７０回特別授業
「あなたにとって、今の世相どう感じますか？
“三つ子の魂百まで”って？」
食事をしながら、４班(1班12名)に分かれて自由討論
※各班のリーダー進行役
1班　今村純子　　2班　鈴木祐之
3班　鈴木真弓　　4班　村松達雄

●給食はマコモダケと棚田米

10：15閉校

めだかの動き

泳ぎ回るめだかたち

■「上海万博」に行ってきました

中国・上海で行われている「上海万博」に行ってきました。

これは「静岡ウィーク（16日～22日）」に3766友好団の一環として訪問したもので、われわれ森町の一行は「遠州森町の舞楽（小國神社古式舞楽、山名神社天王祭舞楽、天宮神社十二段舞楽）」を日本産業館ステージで披露しました。

ステージは、8月16日（月）午後1時30分（現地）から静岡県のオープニングでスタート、2時半過ぎに「小國神社」の「納蘇利」が、休憩をはさんで、「山名神社」の「優填獅子」、そして、5時から「天宮神社」の「獅子」が上演されました。

舞楽は、仏教とともに今から約千三百年前に大陸から伝来、京都や大阪などの中央を経て、遠州地域にも伝えられています。今回の訪問は、いわば千年を超えて「里帰り」したもの、静岡の小さな町に残る大陸文化が現代の中国のみなさんに受け入れられるか心配でしたが、たくさんの人が集まり、ご覧いただくことができ、そして何にもまして私たち3つの団体が力を合わせて上海公演を無事成し遂げることができました。私自身、獅子の頭を持ち、力一杯舞いました。

■掛川市横須賀の「ちっちゃな文化展」大盛況のうちに閉幕

10月22日～24日まで開催された「第12回遠州横須賀街道ちっちゃな文化展」。多くの人出で大賑わいでした。この主催母体である遠州横須賀倶楽部。倶楽部には竹内誠人、深谷孝元メダカや鳥山剛、鈴木武史ら現役メダカがいる。そば茶屋など外からの応援団には、中川泰、明石ふさ子、清水秀子元メダカと松本芳廣、鈴木正士ら現役メダカ。出展者には鈴木真弓メダカと耳塚信博メダカ。ヤジ馬では、花井孝メダカがしずおか健康長寿財団の関係者ら90人ほどを引き連れてご案内。本島慎一郎メダカは研修生を連れての視察研修。個々のヤジメダカも数多し。ヤジメダカ、『人に会いに行く』が特徴のような気がする。

『引佐町大好き！』で、自宅を展示場にしている鳥山剛メダカからは「今度はめだかたよりにのせて下さいね！」と、このようなメッセージ。

「ちっちゃな文化展」最大の人出となりました。今回は不思議な縁を感じました。伊藤茂男さん（注＝故人・メダカの言い出しっぺの一人＝引佐町渋川）が、我が家の周りに集めてくれました。陶芸家で引佐町の野末三千代さん、引佐町にある「天白磐座遺跡」の絵を浜松市の山下淳子さんが出展してくれました。昔、私がお願いし、大須賀町在住の推理小説家木谷恭介先生に書いていただいた小説が天白磐座遺跡の殺人で始まるものでした。山下さんにその本を一冊プレゼント。お二人はバラさんとも話がはずみ、これが縁で山下淳子さんは、めだかの学校に入校が決まりました。と。木谷先生の小説は「遠州姫街道殺人事件」（ノン・ノベルズ社出版）。

■第3回豊岡東公民館まつり

『みんなで楽しく！』を合言葉に「第3回豊岡東公民館まつり」が、11月21日（日）午前9時半～午後2時半まで、磐田市敷地の豊岡東公民館で開かれる。

体育館は、演芸と展示会場。豊岡中学生の「豊岡太鼓」で、開幕。小学生のマーチングバンド、朗読による「一茶と子ども」、楽団演奏など。展示では、公民館の活動や、幼小中学校の作品展示、環境や豊岡出身のかまちよしろうメダカからのマンガコーナー。調理室では、鈴木正士メダカからの手打ちそば、カレーは渡辺三ツ子チーフのメダカカレー。ロビーではバラメダカからのコーヒーとケーキショップ。屋外では深澤明男メダカから豊研21の皆さんのモチつき、伊藤英雄メダカと島田尚子メダカの焼き芋、綿菓子は藤田潤吉メダカから機械を借りる。村田徳治メダカや田村進治メダカからの応援メダカも。やることいっぱい。「資金０の公民館まつり。小銭をもって応援にきて！！」待ってるヨー。またロビーでは、11月28日まで、二俣線と天浜線の写真展が開催されている。なつかしいSLの雄姿が見られるョ。因みに館長はバラメダカ。推して知るべし！で～す。問い合わせは、0539・62・6669豊岡東公民館まで。

■第11回森町発「町並みと蔵展」

11月27日（土）28日（日）の午前10時から午後4時まで森町中心部で開催されます。今回のテーマは「山田七郎左衛門とお茶局」山田七郎左衛門は、天正15年（1587）正月、徳川家康から駿河・遠江両国の「鋳物師惣大工職」の朱印状を与えられ、鋳物師・商人の支配を認められた。妹は、家康の側室お茶局。後に松平忠照の母となり、家康の最後を看取る。その代表的な遺産が森町飯田の高平山遍照寺にある東海で一番大きな大仏様です。27日の午後2時からは西光寺で森町教育委員会の北島氏による講演会も行われます。中村文昭さんの元気がでる講演会が今年も開催されます。12月14日（火）午後6時から森町文化会館で、会費は千円。お問い合せは何れも榊原淑友メダカ090・1472・6189まで

■story art 1st exhibition『パステル和(NAGOMI)アート』

浜松市東区半田山3の47の6 Roundtableで、11月19日（金）～21（日）の3日間、パステルの「心を癒す。和アートのお話の世界」を開く。作者は北島多江子メダカ。初めての展覧会。ぜひお出かけを。問い合わせは、053・487・2325北島さんへ。

■磐田市の花咲の庄であやい展

磐田市一貫地の花咲の庄で、11月3日から29日まで、濱田綾子手描きの世界（着物・タペストリー・傘など）の『あやい展』が開かれている。11月6日には、現代尺八・しの笛コンサートも開かれた。伊藤英雄メダカが来てました。あやい展の問い合わせは、090・4218・7809濱田メダカへ。

■春野の郷のお茶と自然薯とオカリナコンサート

春野町長蔵寺の尾上美智子メダカ邸で、11月27日（土）午前10時～午後3時半まで、山のお茶体験と自然薯の山芋汁とオカリナコンサート。オカリナコンサートは13時30分から。会費は2,500円。まだチラシができていないとのこと。お問い合わせは、053・986・0133尾上メダカまで。

■開校日を前に学舎をキレイに！

11月28日（日）午前9時から学舎の清掃をします。草刈り、枝打ち、料理場、観音塾、トイレ等。午前中で終わる予定ですが、お弁当持参でお出かけ下さい！

『人・ひと・ヒト・・だより』

●長野県の関京子メダカ。後期高齢者と笑いながら、11月12日に開催される「三遠南信サミット」の住民セッションのまとめ役だって。それだけで止まらないのが関メダカ。南信州の人的交流をひろげようと「南信州交流の輪」の代表も務めることに。

●浜松市の古橋利雄メダカ。10月30日～11月3日まで浜松市で開催された「第三回国際ユニバーサルデザイン会議２０１０ｉｎはままつ」の併催イベント「ＵＤ関連製品展示会に参加。①ＵＤサイン陶板②美術陶板③人口芝④花壇屋上緑化用蓄水パレット⑤減農薬栽培農法を展示。丸一物産社長として頑張る。

●新城市の田中きみ子メダカ。10月の雨の日名古屋の牛田松雄メダカと一緒に、マコモダケを持って尋ねてきてくれた。（マコモダケはお盆の仏壇に供えるキュウリの馬・ナスの牛の下に敷く敷物に使われている。）高級中国料理食材だって。渡辺三ツ子メダカがサラダにしてくれた。また元気村「味里」のマスターはデンプラがいいねだって。付してちょっといい話。「猫の福ちゃんが来てくれて一億円が出て、幸ちゃんが来たら一億円が出て、今度は二匹そろったら三億円が出た」だって。宝くじの時期、新城のサークルK前は国道も渋滞するほどの人気。どう、年末のヂャンボ宝くじは、「幸福ちゃん」の居るお店でね！、ハイ。

●東京の菅原歓一メダカ。「かがり火」の取材の後、岐阜県坂祝町の「そばの里深萱ふーどの長谷川政夫メダカのところへ寄る。相変わらず『こだわらない蕎麦にこだわっている』。この長谷川メダカ、月曜日が定休日なので、めだかの学校も月曜日なら出席できるのに…」だって。

●磐田市の鈴木正士メダカのそば畑。今年は草丈が高く、花がたくさん咲いてました。昨年より収穫は大幅アップですね。正士庵の美味しいそばが食べれるかも。

●そのお隣り近くの佐野蓉子メダカの柿は、6月の低温で大打撃。今年の収穫は半減以下だって。周囲の次郎柿や干し柿用の市田柿も被害甚大。深澤明男メダカのみかんも凍傷と夏の高温被害。伊藤英雄メダカの白ネギも…。浜松市の鈴木計芳メダカと島田市の池谷俊裕メダカらの茶園も…と。今年の農業者は大変でした。

●浜松市の内山ゆきゑメダカ。「楽しく元気に明るく輝く大人がいっぱい動きまわっていれば、子供たちが素敵な大人になります」と。春野町の山里に芸術家が集まるアート村を創りたいと、奔走中。ご協力を。

●秋田県鹿角市の奈良務メダカ。趣味で始めた演劇は来年2月の定期公演で20回、セリフを飛ばし、仲間に助けられながら「笑い」と「夢」のある地域づくりをテーマに頑張っている、と。

●和歌山県紀州木の国竜神の眞砂典明メダカ。来年（Ｈ23年）の干支、兎のデザインが決まりました、何れご笑覧賜りたく…だって。今はご多忙の日々でしょうね。12月の校長先生にプレゼントできるかもね。

●東京の磐田市出身のかまちよしろうメダカ。地元豊岡の文化展に招かれて11月7日（日曜日）似顔絵コーナーで来訪者の似顔絵書きでてんてこ舞い。11月21日豊岡東公民館祭りではまんがコーナーも。

［新入生紹介］

●豊橋市の佐藤克彦メダカ。東三河地域研究センター勤務。登校してから一週間がたちますが、まだ衝撃の余韻が残っています。

凄い山奥で、本当にここで…と不安でしたが、大勢の人が集まってきてびっくり。「良い加減のお付き合いを」だって。三遠南信地域での交流や人づくり・まちづくりを手がけている優秀な若手です。

●袋井市の石井美之メダカ。今、僕は迷子だって。「変わった先輩が大勢いると聞いてきました」と。（まさに）。旨い野菜を育て、その野菜でおいしいスープ屋さんを開きたい、だって。

●浜松市の田中恒子メダカ。スキューバーダイビング、水泳・スキー・登山・音楽鑑賞（ジャズ）・英会話・そして農業。ウーン、元気いっぱいのおばさんですぞ！失礼。ばかばかしい事を真面目に丁寧に深く詰めてみたいと。こちらは『い・い・加・減』だもんなァ～。

●名古屋市の伊藤宜勝メダカ。浜名湖花博でポランテイァ活動に参加して以来、現在も浜名湖ガーデンパークで花緑木ポランテイァを続けていると。（財）静岡県グリーンバンクサポータークラブ会長などやっている。三ケ日の別荘にいることが多い、と。

［訃報］

●浜松市春野町の市川智佳子メダカ。3月のめだかの学校に初登校。その後ガンが見つかり闘病生活に。薬石効なく48歳の若さで7月13日に帰らぬ人となりました。ご冥福をお祈りします。

●磐田市の市川祐一元メダカ。10月31日、長い闘病の末、亡くなりました。市川メダカ、野の草一つ一つを大切にする真面目一本筋の人。平成14年6月7日の第36回めだかの学校の教頭先生でした。ありがとう、市ちゃん。

※紙面の関係で今回はこれまで。

【めだかの学校雑感】

めだかの学校は、この12月3日で開校70回目となります。69回で書いたように18年という歳月は、人も建物も多くのものを訴えかけてきます。夜の山道も運転が怖くなり、足腰が弱くなって登校も遠くなる。親の介護など生活環境の変化で夜の外出が不可能になったりと、学舎や曜日や時間割の変更希望が多く聞かれるようになった。

平成15年から使わせていただいている、みどりの郷の建物も30数年も経ち、土台が腐り床が抜け落ちそうな所や雨漏りがしたりと傷みが進んでいる。何年もつか・・・。

以前からあったことだが、第69回の時のこと、男子のトイレで水を流すと床の排水口から水が溢れだしたりと。みどりの郷管理組合長さんが業者にみてもらったところ、汲み取りの便水槽が満杯で逆流してくることが分かった。これではと業者に依頼して汲み取ってもらったところ、あるわあるわでびっくり。26万円余の請求書をみて更にびっくり。契約書には使用料は10万円、汲み取り料はめだかの学校負担。すでに年間使用料10万円を8万円に減額してくれており、舎監の牧野久子メダカからめだかの学校の懐具合を聞いて知っている牧野紀之組合長、これは大変だ、と、野外の6万余円組合で、学舎の20余万円はめだかの学校で、分割でもいいから…と心配り。電話を受けた伊藤英雄メダカとバラメダカは20万円と聞いて、もうびっくり。急遽幹部会議を開いて協議。15年誌の発行で資金が底をついていたが、多くの皆さんの寄付やご協力で蓄積できており、18年度分には手をつけず支払うことができた。組合長の牧野紀之さん、舎監の牧野久子メダカの心配りに感謝。ありがとう。

トピックス

■われら『浜松花蝶ちん』、な、なんと海外公演。新聞で見たと思ったら、今度はテレビ出演ー

浜松市雄踏町の藤田潤吉メダカが座長の、『浜松花蝶ちん』が11月20日からポルトガルのポルト市で始まる「第35回ジャパンウィーク2010・ポルトガル公演」に招かれて他のチンドン仲間といっしょに、20日のオープニングフェスティバルで演奏し、街中にも飛び出してジャパンウィークのPR演奏もするんだって『花蝶ちん』からは、藤田潤吉、久枝夫婦メダカと磐田市の八木正子メダカが参加。

このことを、中日新聞が10月4日付朝刊で大きく掲載。藤田座長を真ん中に、両サイドに久枝姫と正子姫をはべらせ、神戸大チンドンサークル、焼津市の夢チンドン、一宮市のいちのみやチンドン隊、豊田市の豊田殿姫チンドンの応援チンドンもしたがえての写真。藤田座長自信たっぷりの図。いやァ、ご立派。新聞を見た静岡第一テレビ。3日間、藤田夫婦を密着取材。10月21日の静岡まるごとワイドで放映。伊藤英雄メダカから「テレビ見たヨ」の電話があったって。今では、町の有名人?。『ちんどん屋は珍奇な仮装集団ではないですぞ。立派な日本の伝統芸でござんす。』と藤田座長。まさにまさに。

■事務局だより

11月も半ば、急に寒さを感じるようになりました。家の周りの柿畑も色をつけはじめ、晩秋に彩りを添えています。でも今年は、蕾の時の凍害と夏から初秋の高温で、実りの秋も半減とか…地球温暖化の現象はいたるところに…。我らも亦心して—。

11月13日、「風邪をひき、久しぶりに静かに11月1日発行の「めだかの学校だより」の最後の原稿を書いてます。(ごめんねぇ、困ったものです)

さて、第69回のめだかの学校は、9月3日、校長池谷俊裕、教頭鈴木格子、用務員大久保陽。冒頭6月に亡くなられた市川智佳子さんの冥福を祈って黙祷。18期の第1回にふさわしく伊藤宣勝、佐藤克彦、田中恒子、石井義之、後藤荘一の5名が入校し、自己紹介。それぞれに一家言を持った新入生。久しぶりに名古屋から出席の山根圭二メダカも。花井孝先生の1時限1時間の「ご自由にどうぞ」。さすが地域おこしの先導役者、資料もレジュメもしっかりと作られて配布。・・・『うむ、この異様ない・い・加減な雰囲気・・・。家で考えてきた内容の話し方では納得させられんぞ。武ちゃんをダシにして・・・。』と方向変換。遠州横須賀の街並みの景観の話からはじまって、岐阜県美濃市から街並みづくりの相談を受け、職員2人の観光協会設立。市長の強いリーダーシップの熱意と行動力。どうしようもないと諦めていた古い歯抜けの町並みを、地域特産の美濃和紙で張った、あんどんで照らす全国公募の「あかりアート展」で、総理大臣賞をもらうまでになった経緯を、難しいと思われた資料を笑いのオブラートに包んだ話術で、いい加減の雰囲気のメダカ生を納得させてしまった。

校長訓話では、自営業のお茶が、新茶初摘みの前に凍霜害で被害を受けた悔しさを語った。そんな農家の思いに、ある新聞は『お茶はまた芽が出てくるからいい』と、書いてあった。一番茶と二番茶は違うんだ。香りも味も。お茶の記事を自認する新聞社がなんだ、といいながら、島田のメダカ生を中心に「はつくら倶楽部」を結成したと。

事務局からは8月29日の学舎の草刈りと清掃に伊藤英雄、古橋利雄、池谷俊裕、尾上美智子夫妻、渡辺三ツ子、牧野久子、大谷香代子メダカらに感謝の報告。

お待ち兼ねの給食は、マコモダケはダメだったが、スーパーで四百円ぐらいの新サンマが安く入ったと、新サンマとまつたけと武ちゃんちのジャガ芋などで秋の旬を満喫。

私語飲食全て禁止の次期三役発表は、校長・大谷香代子、教頭・鈴木計芳、用務員・伊藤宣勝。校長、教頭は引佐町で固め、用務員は三ヶ日町に単身在住している新人の伊藤宣勝を指名。最後はいつもの如く大きな輪をつくって、「いつまでもたえることなく・・・」歌いながら握手してお別れを・・・。アレ、あっちこっちに固まり、なかなか帰らない…いつもと違う光景。最後に学舎を閉めて出たのは夜の10時45分すぎだった。

第70回のめだかの学校の職員会議を、10月14日(木)磐田市の元気村「味里」で開く。校長大谷香代子、教頭鈴木計芳、用務員伊藤宣勝三役揃い踏み。70回は回の区切りでもあるので、ちょっと形を変えて、全員参加型にしようということに。『今の世の中だいぶおかしくない。子が親を殺し、親が子を殺す、遊ぶお金ほしさに強盗し・・・あいさつも満足にできないし、感謝の表し方も知らない・・・これでいいわけないよなァ・・・私たちにも責任あるよなァ・・・。』「三つ子の魂百まで・・」という言葉もある。幼児期のしつけなどもある。三つ子の魂百までをテーマに、4班に分かれて、給食を食べながら、チーフを決めて話し合うことに。各班3分で発表も。みなさん考えてきてください。

■あの~、ごめん、お詫びとお礼と・・・

11月の始めのこと、妻の明美さん「今回は余裕があるみたい、早く終えたようで良かったね」「まだなんにも…」「エッー…」。

とにかく伊藤英雄さん、鈴木武史さん、榊原淑友さん、石野省三さん、最後の締めは間渕亮太さん、よろしく!!感謝で~す。

■第18期の受け付けをしています

第18期は22年9月1日から23年8月31日までです。随時申込みを受付していますが、まだ継続手続きをしていない生徒は、今回を以って名簿からはずれ自主退学となります。ご注意ください。入学希望者がありましたらご連絡ください。申込書と資料を送ります。

■めだかの学校だよりの原稿を!

次回の発行日は平成23年2月1日、原稿の締切りは1月20日です。あなたの活動予定やイベント、活動実践など送ってください。郵便かFAXで。メールの方は、

《mabuchi-trd@yr. tnc. ne. jp》

間渕亮太090・5009・0986です。

(メールの方は割付の関係もあるのでご一報を)。

■めだかの学校の事務局

〒438・0105静岡県磐田市家田529番地20　榊原幸雄方　TEL0539・62・6691（FAX同じ）

※学舎「みどりの郷」には電話はありません。連絡・お問合せは事務局へ。